

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている		○			殆どの介護員は事業所として 掲げている理念を理解してい る	新人職員は理解していないと 答えている者もいるようである が、繰り返し研修を実施してい く事が望ましい
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している		○				
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している		○			<ul style="list-style-type: none"> 運営者視点と理解し回答に 至らない職員が多かった 内部研修は毎月実施しており 又外部の研修参加も職員の経 験等考慮し受講を促している 	研修については、研修計画に 基づき公平に研修受講できる ように配慮が必要である

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			利用者の状況を十分に把握し、職員の能力が発揮できるように配置を考慮している	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			毎日の申し送り、独自の支援システムを活用し共有できているが、個別カンファレンスの不足も感じており、次年度は合同の会議開催を予定しさらなる情報の共有を目指している	
いる									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			・人員不足や特定行為の受講状況により訪問する職員が固定してしまうなどの課題は残る ・同性介護に対する配慮を行っている	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			会議は2か月に1回の開催を実施。会議出席者が管理者に固定している状況があり、次年度は介護員からの出席も検討していき、サービス提供に反映していきたい	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			独自の支援システムでの申し送りを利用、またケアの前後に於いて状況の把握に努め、状況にあわせたケアを実施している	
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			運転講習会、防犯通報の設置、防災訓練の実施(年2回)、緊急連絡網、マニュアルの整備を行っている 地域の防災訓練にも参加している	
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			事業所内での個人情報にかかわる書類等の管理は十分注意を払っている。又職員に対しての研修も実施している。	個人情報については十分な管理を行って頂きたい

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			定期巡回型サービスの大きな特徴である24時間を通しての安否確認や体調観察の視点を重視し提案している	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・看護からのアセスメントに基づき計画作成を実施している ・ほぼできている状況にあるが、次年度の課題として密なつき合わせを行うことにより利用者のQOLを上げていきたいと考える 	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・維持されているが、回復までには至らず ・現状を理解し日常生活でのリハビリを通し、維持と心身機能についての学習を重ねている 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者等の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・医療的な知識が少なく適切なリスク管理が出来ているとはいえない面がある ・多職種と連携を図って実施していく事が重要であると考えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問内容について使用している用語が難しく辞書を引いて内容を確認しなければならない場面があった ・全体的に難しい用語が多い
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・状況の変化にあったケアを実施している ・柔軟なサービス提供が出来ている ・必要に応じ随時対応、随時訪問を実施している 	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・毎月モニタリングを実施し、担当のケアマネジャーへ報告し適宜計画へ反映させている 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			・特定行為等に於いて介護職と看護職との連携が図られており、専門性を生かすことができています	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			・知識を深める為の指導、助言を受けている ・併設の事業所である特性を生かし、常に助言が得られる環境にある。	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			・自立した日常生活を送ることができるよう援助を実施している ・利用者又はご家族に対して管理者、計画作成責任者から事前に説明を行っている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			作成した計画に対し、利用者又はご家族へ、目標と訪問内容に関しての説明を行い、同意を得てサービス提供を行っている	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			状況の変化が生じた場合は管理者又は計画作成者から報告、連絡を行っている	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
1									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			同法人内のケアマネジャーはもとより、外部のケアマネジャーに対しても状況に変化が生じた場合は速やかに連絡をしている。サービス提供日時に関しても情報を共有し提供実施に至っている	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている			○		自事業所からの積極的な提案は少ない状況にある	事業所としての努力は理解しているが、職員の経験、知識不足などから、まだ理解できる所まで到達できずにいるのかと感じる

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている		○			・出席者は管理者、計画作成責任者が主であるが、出席時には現在の状況等についての情報は提供できている	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)						
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)						
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			閲覧できる状況にあるが、積極的に情報を得ようとする職員も少数あり ・次年度は事業所会議内での報告も実施していくことにする	未回答9名と多く、実際会議を行っているし情報発信しているのに残念な状況である 情報発信方法に問題があるのでは？各自閲覧できるなどの方法は取っているのかとの意見があった
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				・広報誌の作成、配布、ホームページなどでの広報を実施している ・次年度に向けての広報誌を作成中である	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		地域包括ケアシステムについての学習会等を実施し、サービス提供を行っているが、十分理解できていない部分があることから次年度は自己評価への取り組み方を含めて年間計画を立て研修を実施していきたい	研修を実施しているにもかかわらず全くできていないとの答えが多いのはどうしてなのか、という点を考えていかななくてはならないのではないかと意見があった
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている				○	人員不足等により施設内でのサービス提供にとどまっているが、次年度の目標としてあらためて地域エリアへの訪問を実現していきたいと考えている 外部の訪問先として考えるのは片道15分圏内である	外部への訪問の場合は片道どれくらいまで行く事が出来るのかとの意見あった
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・計画目標に達しているかについての評価を定期的に実施している ・目標達成に至っている場合もあるが多くは現状維持の状況にある 	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			<ul style="list-style-type: none"> ・安心した生活を送れるよう心掛けケアにあたっているが、利用者一人一人と十分な関わりが出来るか不安なところもある ・医療依存度の高い利用者に対して24時間を通して安心して生活できるよう努めている 	事業所努力も伺え概ね良好な事業を行えていると思うし、利用者からも理解を得られているようだ。今後も内、外部の研修を重ねていく事で職員の意欲、技術向上を図り事業を行って欲しい